

凡例 時=日時 所=場所 容=内容 対=対象 条=条件 員=定員 数=数量 額=支給・助成額など 料=料金  
募=募集期間・方法 受=受付 持=持参するもの 問=問い合わせ先

# 情報ひろば 9月

## 福祉

### 認知症高齢者家族やすらぎ支援員派遣サービス

認知症に関する研修を受けた「やすらぎ支援員」が、認知症高齢者の介護をしている家族に代わって見守りや話し相手を行います。介護疲れで休息が必要な場合や外出の場合にご利用ください。

対 身体介護を常時必要としない認知症高齢者を、同居または近くに住みながら在宅で介護している家族  
料 30分あたり100円(生活保護世帯、中国残留邦人等支援給付受給世帯は無料)  
利用時間：11月20日20時以内  
問 駅南庁舎高齢社会課  
0857-20-3453  
問 各総合支所市民福祉課(14ページ)  
問 各地域包括支援センター(下記)

### 認知症サポーター養成講座

認知症の人やその家族に対する理解者・協力者(サポーター)を増やすための出張講座 対 認知症について関心をお持ちのグループ(少人数でも可)  
料 無料 ※会場は各グループで確保  
問 鳥取中央地域包括支援センター  
0857-20-3456  
問 鳥取こやま地域包括支援センター  
0857-32-2727  
問 鳥取南地域包括支援センター  
0858-76-2351  
問 鳥取西地域包括支援センター  
0857-82-6571  
問 鳥取東健康福祉センター(包括支援係)  
0857-25-5021

### 母子家庭の豊替えサービス

鳥取県振興協同組合鳥取支部の協力により、母子家庭の世帯を対象に、豊の表替えを無料で行います。  
時 10月中旬～下旬▽豊引き取り：8時30頃 ▽豊返却：16時00頃 対 児童扶養手当を受給している母子世帯、民間経営のアパートまたは借家に入居している世帯 容 1世帯につき1部屋(6畳程度)▽実施世帯数：5世帯程度 ※応募多数の場合は抽選のうえ決定します。 募 9月20日(金)必着で、問い合わせ先まで  
問 駅南庁舎児童家庭課  
0857-20-3465

### 高齢者への日常生活用具の購入費助成

認知症などで火の管理に不安のある高齢者に対し、安全に日常生活を送るための生活用具の購入費用の助成  
対 対象要件：おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者などで、認知症または身体機能の低下により防火への配慮が必要な、住民税非課税の世帯  
▽対象品目：電磁調理器、自動消火器  
※品目により数量の制限があります。  
額 購入額の10分の9を助成 ※品目により購入費の制限があります。  
問 駅南庁舎高齢社会課  
0857-20-3453  
問 各総合支所市民福祉課(14ページ)

### 認知症の人と家族の集い

毎月第2金曜日開催  
時 9月13日(金) 10:00～12:00  
所 ささやか会館(富安二丁目)  
容 介護問題、家族・本人の悩みなどを出し合っ、情報交換、不安解消などの場。 料 無料  
問 鳥取中央地域包括支援センター  
0857-20-3456  
日 ころの認知症に関する相談は次の各センターでも受けています。  
問 認知症コールセンター(毎週月～金) 0859-37-6611  
問 認知症疾患医療センター(渡辺病院) 0857-39-1151

### お知らせ

#### 9月1日～9月10日は屋外広告物適正化旬間です

国土交通省では、屋外広告物の適正化を一層推進するため、9月1日から10日までを「屋外広告物適正化旬間」に設定し全国的に様々な活動が行われます。鳥取市においてもこの旬間を中心として、違反広告物の一斉除去・是正指導・パトロールなど適正化に向けた取り組みを実施いたします。  
美しい風景や快適な住空間を守り、良好な街の景観を形成していくために、皆様のご協力をお願いしております。

#### 住宅・土地統計調査にご協力を

10月1日、住宅土地統計調査を実施します。居住環境や住宅性能、土地の利用状況などについて調査し、その結果は、居住環境の改善、耐震や防火を中心とした都市計画の策定などに幅広く利用されます。調査の対象となった世帯には、9月下旬から調査員が訪問しますので、ご協力をお願いします。  
問 本庁舎総務課  
0857-20-3156

#### 災害医療フォーラム

原動力災害における医療と救護活動  
時 9月28日(土) 13:30～16:30  
所 とりぎん文化会館小ホール 容 特別講演「放射線の人体影響」これまでに分かったこと」講師：土肥博雄さん(日赤中四国ブロック血液センター) 所長▽講演「初期被災は医療・救護所・搬送・医療機関の対応」講師：山本尚幸さん(放射線災害医療研究所所長) 講師：水中進一さん(鳥取県原子力安全対策課長)  
問 鳥取赤十字病院  
0857-24-8111

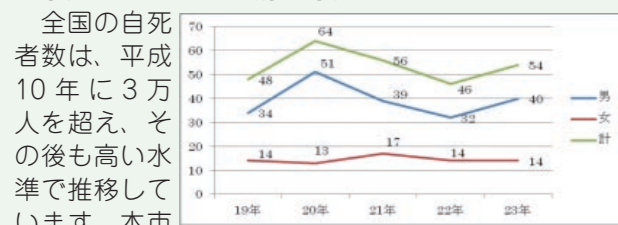
### 第14回とっとりきの祭

時 10月5日(土) 9:30～14:30  
所 日本きのこセンター菌茸研究所(古郡家) 容 きのこの展示、お絵かき、きのこグッズ作製、シイタケもぎ取り、植菌体験、サッカー教室、きのこ鍋、きのこ販売、バザー販売(おこわ、そば、カレーなど)  
※指定の駐車場をご利用ください。  
問 日本きのこセンター菌茸研究所  
0857-51-8111

### 鳥取いのちの電話公開講座

時 9月21日(土) 13:30～15:30  
所 とりぎん文化会館小ホール(尚徳町) 容 講演「包摂」と「寄り添い」の政治 講師：片山善博さん(慶應義塾大学法学部教授・元総務大臣・前鳥取県知事) 料 無料・申込不要 ※手話通訳が必要な人はお知らせください。  
問 社会福祉法人「鳥取いのちの電話」事務局  
0857-29-6556  
(月曜日～金曜日12:00～16:00)  
精神保健講演会  
時 9月12日(木) 13:30～15:30  
所 さわか会館3階多目的室(富安二丁目) 容 講演：「気分(感情)障害ってどんな病気？」▽講師：原田豊さん(鳥取県精神保健センター所長) 料 無料  
問 駅南庁舎障がい福祉課  
0857-20-3474  
鳥取県高齢者健康づくり推進大会  
時 9月4日(水) 13:00～15:00(開場12:30) 所 とりぎん文化会館小ホール(尚徳町) 容 講演「老いと死から逃げない生き方」よりよい今を生かすために」講師：中村仁一さん(社会福祉法人「同和園」附属診療所所長、医師)▽高齢者の交通事故防止について 解説：鳥取県警察本部交通

### 9月10日～16日は「自殺予防週間」です



全国の自殺者数は、平成10年に3万人を超え、その後も高い水準で推移しています。本市でも、平成23年には54人(男性40人、女性14人)の方が自ら命を絶っています。(鳥取県人口動態統計より)  
鳥取市の自殺者の推移(鳥取県人口動態統計)(人)  
自殺には、健康の問題や経済・生活の問題、うつ病など様々な要因が複雑に関係しています。自殺を考えている人は悩みを抱えながらもサインを発していることがあります。そのため、自殺を防ぐには、家族や職場の上司・同僚など身近な人がちょっとした変化に気づくことが重要です。眠れない日が続いている等の症状があったり、酒量が増すなどのサインに気づいたら、まず下記の相談窓口や心療内科・精神科、かかりつけの病院などに相談しましょう。

- 鳥取市こころの相談窓口  
問 中央保健センター 0857-20-3194  
各総合支所市民福祉課 (14ページ)  
駅南庁舎障がい福祉課 0857-20-3474  
社会福祉法人 鳥取いのちの電話  
問 いのちの電話 0857-21-4343(毎日12:00～21:00)  
自殺予防いのちの電話(通話料無料)  
0120-738-556(毎月10日8:00～翌日8:00)

### 家族介護教室

日時	内容	講師
第1回 10月10日(木) 13:30～16:00	高齢者がかかりやすい病気と健康管理、介護保険サービスの利用の手続きなど	医師
第2回 10月31日(木) 9:00～12:30	介護食の講義と調理実習	栄養士
第3回 11月14日(木) 13:30～16:00	介護技術の実技①移乗・移動時の介護方法②排泄時の介助など 口腔ケア・口の体操	介護福祉士 言語聴覚士
第4回 11月28日(木) 13:30～16:00	認知症の理解と対応について 介護者の腰痛・肩こり予防体操	家族の会 健康運動指導士

※希望の教室のみの参加も可能です。  
ところ 学習・交流センター鳥取(湖山町西一丁目)  
対象 高齢者を介護している家族や介護に関心のある人(全市域対象)  
料金 450円(調理実習材料費)  
定員 各回30人(申し込み順)  
申し込み 10月4日(金)までに、以下の問い合わせ先各窓口にて受け付け  
※電話・ファクシミリでも受け付けます。  
問 鳥取こやま地域包括支援センター 0857-32-2727  
0857-31-3270